

授業科目名	セキュリティ技術Ⅰ		科目コード	2017021	
開講クラス	情報システム科	コース	IT 高度専門士コース	学 年	2 年
担当教員	黒澤 伸也		実務経験教員 ( 有 ・ (無) )		
	実務経験内容				
開講時期	(前期) ・ 後期 ・ 通年 ・ 特別講義 ・ その他		授業コマ数	60 時間	
	(必須) ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	2 単位	
使 用 テキスト 1	書 名	情報セキュリティ技術認定 基礎コース テキスト			
	著 者	Security Education Alliance/Japan (SEA/J)			
	出版社	Security Education Alliance/Japan (SEA/J)			
使 用 テキスト 2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書	情報セキュリティスペシャリスト教科書				
授業形態	(講義) ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ( )				
<p>&lt;授業の目的・目標&gt; SEA/J 主催 情報セキュリティ基礎コースの効果測定である「CSBM」試験の合格 ※CSBM：Certified Security Basic Master</p>					
<p>&lt;授業の概要・授業方針&gt; SEA/J 主催 情報セキュリティ基礎コースの効果測定である「CSBM 試験」の合格にむけて、 業務現場での実例などを挙げつつ解説をしていく。</p>					
<p>&lt;成績基準・評価基準&gt; ・ 筆記試験 100～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可 なお、追試験を行う場合はすべて可と評価する。</p>					
<p>&lt;使用問題集・注意事項&gt; ・ CSBM 試験の問題集が存在しないため、実例も含めて細かくメモを取らせる ・ CSBM 試験の過去問題は絶対に使わない。契約上コピーなどを取ることも禁止されている ので、もし発覚した場合には契約解除および学生の合格取り消しにつながる ・ 授業を行うために認定インストラクターになる必要がある。</p>					
<p>&lt;授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他&gt; ・ コンピュータ概論Ⅰ・Ⅱ ・ 対策演習</p>					

授業科目名		セキュリティ技術 I
回	授業内容	備考
1	SEA/Jとセミナー、社会人教育について	
2	情報セキュリティの構成要素	
3	情報資産	
4	脅威と脆弱性、PDCA	
5	標準規格、リスク	
6	情報セキュリティポリシー	
7	教育・訓練	
8	情報セキュリティ監査・運用	
9	人的セキュリティ	
10	TCP/IP	
11	HUB	
12	VPNの構成	
13	無線LANの脅威	
14	無線LANのセキュリティ	
15	不正アクセス（犯罪との関係、偵察行為）	
16	パスワードクラック、不正アクセス手法	
17	不正アクセスからの攻撃	
18	ファイアウォール	
19	パケットフィルタリング	
20	NAT	
21	ファイアウォールの導入・運用	
22	検知技術：NIDS	
23	検知技術：HIDS	
24	検知アルゴリズム・関連技術	
25	DNSの構成	
26	DNSセキュリティ	
27	電子メールの仕組み	
28	メールサーバーの脅威	
29	メールクライアントのセキュリティ	
30	Webシステムの仕組み	

回	授 業 内 容	備 考
31	Web システムのセキュリティ	
32	サービス管理・ファイルシステム管理	
33	アカウント管理	
34	ネットワーク保護・修正プログラム	
35	ログ管理・監査機能・TrustedOS	
36	パスワード認証	
37	バイオメトリクス認証・認証デバイス	
38	認証プロトコル・アクセス制御手法	
39	プログラム処理	
40	バッファオーバーフロー・オブジェクト指向	
41	不正プログラムとは	
42	感染経路	
43	不正プログラムの活動	
44	検出方法	
45	暗号（共通鍵暗号方式と公開鍵暗号方式）	
46	暗号化アルゴリズム	
47	ハッシュ	
48	電子署名	
49	電子証明書	
50	認証局	
51	セキュリティプロトコル(PGP・S/MIME)	
52	セキュリティプロトコル(SSH)	
53	セキュリティプロトコル(TLS/SSL)	
54	セキュリティプロトコル(IPsec)	
55	法令・規格(1)	
56	法令・規格(2)	
57	法令・規格(3)	
58	法令・規格(4)	
59	確認演習	
60	確認演習	